

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-173482

(43)公開日 平成6年(1994)6月21日

(51)Int.Cl.⁵

E 0 4 H 6/06

識別記号

庁内整理番号

H 9024-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-325417

(22)出願日 平成4年(1992)12月4日

(71)出願人 592250687

古倉 義彦

東京都港区白金1丁目3の8-703号

(72)発明者 古倉克資

千葉県船橋市習志野台6丁目22番8号

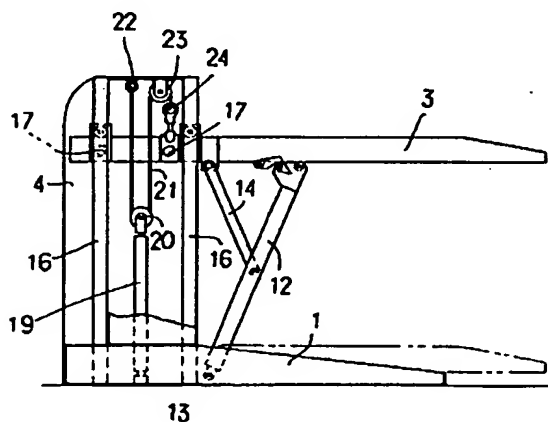
(74)代理人 弁理士 土橋 秀夫 (外1名)

(54)【発明の名称】 簡易立体駐車場

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 滑車を利用して、油圧シリンダーのストロークが従来の半分ですむ簡易立体駐車場を提供すること。

【構成】 車体が入る間隔を存して設置した左右の支承枠1間に上部駐車スペース板3を設け、両支承枠の下端に設けた枢着点を支点に回動する回動支柱12の先端を上部駐車スペース板3に接続し、支承枠1に立設した遮蔽壁4の上端の定滑車23にかけたワイヤー21の一端を上部駐車スペース板3に固定し、他端は油圧シリンダー19のピストン先端に取付けた動滑車20を経て遮蔽壁4上端に結着したこと。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記(a)(b)(c)3要素の結合から成り立つ簡易駐車場。

(a) 車体が入る幅を存して設置した左右の支承枠と、両支承枠間に位置する上部駐車スペース板とを備えていること、

(b) 両支承枠の下端に設けた枢着点を支点に回動する回動支柱の先端を前記上部駐車スペース板に接続したこと、

(c) 両支承枠に立設した遮蔽壁の上端に取付けた定滑車にかけたワイヤーの一端を上部駐車スペース板の左右に固定し、他端は遮蔽壁に添設した油圧シリンダーのピストン先端に取付けた動滑車を経て遮蔽壁上端に結着したこと。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、2台の車体を上下に駐車させる簡易立体駐車場に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の簡易立体駐車場は、長身の油圧シリンダーにより上部駐車台を上下動させるものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明の課題は、滑車を利用して油圧シリンダーのストロークが従来の半分ですむ簡易立体駐車場を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の手段は次のとおりである。

【0005】車体が入る幅を存して設置した左右の支承枠と、両支承枠間に位置する上部駐車スペース板とを備え、両支承枠の下端に設けた枢着点を支点に回動する回動支柱の先端を前記上部駐車スペース板に接続し、両支承枠に立設した遮蔽壁の上端に取付けた定滑車にかけたワイヤーの一端を上部駐車スペース板の左右に固定し、他端は遮蔽壁に添設した油圧シリンダーのピストン先端に取付けた動滑車を経て遮蔽壁上端に結着した簡易立体駐車場。

【0006】

【作用】100V、200V或いはソーラーを電源とし、モーターを作動させると、油圧ポンプが稼働し高圧油圧を発生させ、油圧ホースを介して2本の油圧シリンダーが作用し、ピストンの移動と共に動滑車も協動するため、ワイヤーを引張り上部駐車スペース板を油圧シリ

ンダーと滑車により持上げる。従って、油圧シリンダーのピストンストロークは上部駐車スペース板のせり上げ高さの半分のストロークで足りる。

【0007】

【実施例】図の符号1、2は支承枠で、その間に車体が入る空間を設け、この空間に上部駐車スペース板3を静置させる。

【0008】左右の支承板12にはそれぞれ、基端側に遮蔽壁4、5を立設し、その一方4に太陽電池6を取付けた支杆7を固定し、バッテリー9、油圧モータ10のケース11を添設する。

【0009】上部駐車スペース板3の左右に接続する回動支柱12は下端がピン13により支承枠1、2の中間部位に枢支され、回動支柱12の中間部位と上部駐車スペース板3とを支え棒14で連絡させる。

【0010】遮蔽壁4、5には垂直に案内レール16を形成し、上部駐車スペース板3には車輪17を取付けて上下運動を円滑に行う。又遮蔽壁4、5に添設した油圧シリンダー19、19は油圧モータ10に連けいし、そのピストン杆の先に動滑車20を取付け、これにかけたワイヤー21の一端は遮蔽壁4、5の上端の固定子22に固着し、他端は遮蔽壁上端の定滑車23を介して上部駐車スペース板3に取付けた固定子24に結着する。尚上部駐車スペース板3は底板の代りに数本の回動杆25をわたして置けば軽量となる。

【0011】

【効果】本発明によれば、油圧シリンダーのストロークは必要とする上下運動の半分で済み、かつ滑車の原理により、油圧シリンダーの力より重い重量のスペースが持上げられる。

【図面の簡単な説明】

【図1】側面図。

【図2】同上要部の拡大図。

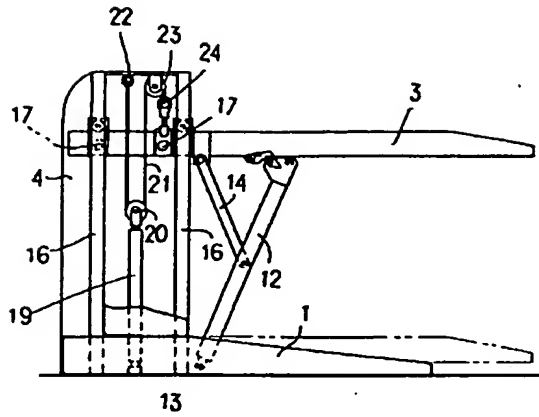
【図3】平面図。

【図4】正面図。

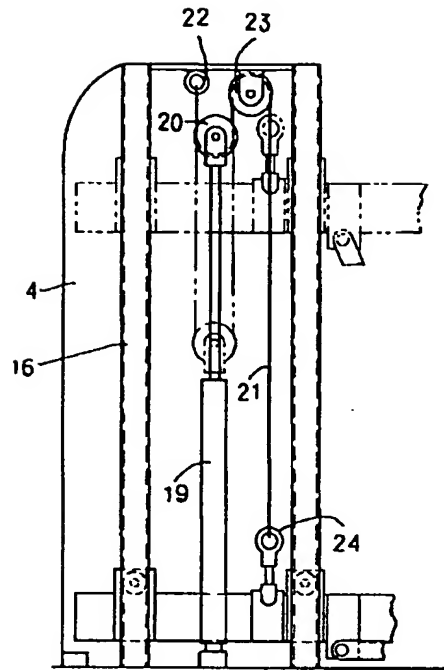
【符号の説明】

1, 2	支承枠
3	上部駐車スペース板
4, 5	遮蔽壁
12	回動支柱
19	油圧シリンダー
21	ワイヤー
20	動滑車
23	定滑車

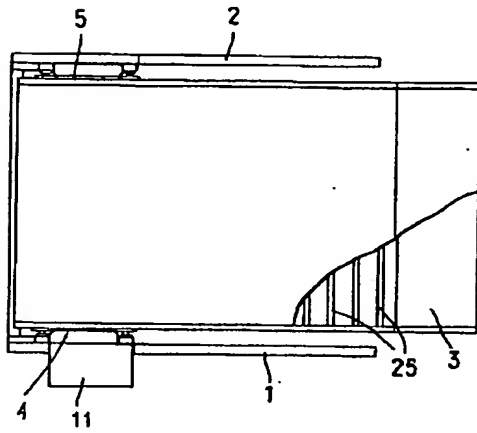
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

